

# 令和2年度 学校目標

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>○組織的な授業改善に取り組む、生徒一人ひとりに対するきめ細かな指導と家庭学習習慣の確立を通して、主体的に学ぶ姿勢を育成する。</p> <p>○国際的視野の涵養と豊かな語学力・コミュニケーション力等を育成し、国際社会に貢献する高い志を持ったグローバル人材を育成する。</p>	<p>① 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践及び家庭学習習慣の確立を進め、基礎基本の定着と向上を図り、思考力・判断力・表現力、英語力、コミュニケーション能力等の向上を図る。</p> <p>② 国・県の動向を注視し、新学習指導要領及び本校の基本方針に基づいた魅力ある新教育課程を編成する。</p> <p>③ 国際交流事業の体系化を推進する。</p>	<p>① 「主体的・対話的で深い学び」(協働学習)の視点及びICTを取り入れた授業を実践する。自らの知見を高め、生徒による授業評価及び定期試験・模試等の結果を授業改善に還元する。互見授業・教科会・研究授業・職員研修を充実させ、組織的な授業改善に取り組む。またG Suiteの活用、面談指導等により、家庭学習習慣の確立を図る。</p> <p>② 新学習指導要領及び本校の基本方針に基づいた魅力ある新教育課程を編成する。</p> <p>③ 留学生受入れ、海外研修等への生徒参加、国際交流等を推進する。</p>	<p>① グループワーク、課題解決学習、プレゼンテーション、レポート作成の指導、ICTの活用、G Suiteの活用に取り組めたか。互見授業・研究授業・職員研修・教科協議を実施できたか。生徒による授業評価の「かなり当てはまる」の回答率を昨年度より高められたか。家庭学習時間は昨年度より増加したか。</p> <p>② 新学習指導要領及び本校の基本方針に基づいた新教育課程を編成できたか。</p> <p>③ 国際交流など国際教育の取組を行えたか。</p>
2 生徒指導 ・支援	<p>○学校生活、特別活動を通して豊かな人間性・規律社会性を備えた生徒を育成する。</p> <p>○自主・創造の意欲と協働・協働の精神を、関係構築を育成する。</p>	<p>① 学校行事等を通して生徒が主体となり「おもしろく、達成感を持って活動し、健康管理・基本的生活習慣・自己管理の確立、よう指導する。他人を尊重し、生命の大切さ、心身の健康を伝える体制の充実を進める。</p> <p>② 生徒理解に努め、教育相談体制の構築・外部との連携・職員研修等により、支援の必要な生徒へ適切な支援に当たる。</p>	<p>① 学校行事・生徒会活動・部活動等の支援体制の充実を図るとともに、指導的な態度を確立させ、全職員で遅刻・早退・挨拶・身だしなみ、モラル等の指導に当たり、性を身につけるよう指導する。</p> <p>② 生徒理解に努め、教育相談体制の構築・外部との連携・職員研修等により、支援の必要な生徒へ適切な支援に当たる。</p>	<p>① 各学校行事等において生徒が主体となって計画的に運営したか。生徒アンケートでは満足度が高いものになったか。遅刻者を昨年度より減少できたか。また時間管理を徹底させることができたか。部活動加入率を昨年度高められたか。</p> <p>② 「いのちの教育」を実施できたか。組織的な教育相談支援体制のもと、外部と連携を図りながら生徒を支援できたか。</p>
3 進路指導 ・支援	<p>○高い志に根ざした第一希望の進路実現に向けて、3年間を見通した進路指し、きめ細かい面接指導など段階的かつ系統的に実施する。</p> <p>○英語検定、「総合的な探究の時間」等を用いて、4技能の英語教育の充実を図り、英語をツールとして使える人材を育成する。また「総合的な探究の時間」の探究活動を通して、言語能力、コミュニケーション能力、課題解決力など汎用的能力の向上を図る。</p>	<p>① 高大接続改革に対応する進路指導、組織的に個に応じたきめ細かい面接指導等を通して、生徒の進路意識を早期に高め、第一希望の進路を実現する指導を行い、進路実績の向上を図る。</p> <p>② 英語検定等を活用して4技能の英語教育の充実を図り、英語をツールとして使える人材を育成する。また「総合的な探究の時間」の探究活動を通して、言語能力、コミュニケーション能力、課題解決力など汎用的能力の向上を図る。</p>	<p>① 最新情報の提供、面談指導、三者面談、インターシップ、個人データ・学年通信・学年集会等の活用、職員対象模擬試験等の分析等により、生徒の進路意識の早期啓発と高い志の進路実現を支援し、進路実績の向上を図る。</p> <p>② 英語科と連携を図り、英語検定準2級取得率10%向上に取り組む。また「総合的な探究の時間」の探究活動を更に進め、成果を生徒発表会として実施する。</p>	<p>① データ分析会を3回実施できたか。生徒の進路意識及び進路実績を昨年度より高められたか。</p> <p>② 英検準2級の取得率を10%向上できたか。探究活動の環境整備・内容の充実を図れたか。生徒発表会を実施できたか。</p>

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
4 地域等 との協働	<p>○PTA・同窓会・地域との連携・交流を深め、地域に開かれた学校作りを推進する。</p> <p>○「国際社会で貢献する高い志を持つグローバル人材の育成」をスローガンに国際教育、英語教育、芸術教育を県民に積極的に発信し、意欲ある生徒の獲得を目指す。</p>	<p>① 保護者・近隣の小中学校、地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを更に進める。</p> <p>HP・まちコミ等で迅速かつ効果的な発信と内容の充実を進める。地域における生徒の交流を進める。</p>	<p>① PTA幹事校としてPTA活動を支援する。小中学校・地域等と連携した取組を推進する。学校運営協議会を開催し、学校評価及び得られた意見を教育活動に活用する。</p> <p>HP・まちコミ等の迅速な更新と内容の充実、生徒の活躍をアピールする学校説明会、地域での生徒発表会等を展開し、効果的に本校の魅力を発信する。</p>	<p>① PTA幹事校の役割を支援できたか。小中学校等と連携した取組を行えたか。学校運営協議会での評価を活用できたか。</p> <p>HP・まちコミの更新回数を10%増加できたか。タイムリーに情報発信できたか。学校説明会等で効果的な情報発信を行い、志願者数が増加したか。地域で生徒が活躍する場を維持できたか。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>○教育公務員としての高い使命感と倫理観を持ち、事故不祥事防止に取り組むとともに、協働とライフワークバランスを意識して職務に取り組み、働き方改革を推進する。</p> <p>○保護者・地域・県民からの信頼と期待に応える安心・安全な学校づくりを進める。</p>	<p>① 事故不祥事防止に向けた教職員の意識を高める取組を徹底して行うとともに、心身共に健康で職務を遂行するよう協働意識を高め、働き方改革を推進する。</p> <p>清掃や美化指導、SDGsの理念に基づいた環境教育を通して、生徒自らが学習環境を整える態度、社会性や公共心を育成するとともに、安心・安全な教育環境を整備する。また防災意識の向上と防災体制の充実を図り、防災力を強化する。</p>	<p>① 不祥事ゼロプログラムに基づき、事故防止会議・職員研修等を通して、適切な生徒指導、ハラスメント防止、成績処理、推薦入試業務、入学者選抜業務、会計処理など各種業務での事故防止を徹底する。業務の効率化、協働体制の強化を図り、ICT機器等の効果的な活用により働き方改革を推進する。</p> <p>清掃や美化指導、SDGsの理念に基づいた環境教育、美化委員会の活性化等を進める。また実践的な校内・地域での避難訓練等を行う。</p>	<p>① 生徒の人権を尊重した教育活動を進められたか。職員研修を実施し、事故・不祥事を防止できたか。教職員が協働意識を持ち、業務の効率化、ICTの活用を進められたか。</p> <p>衛生的で落ち着いた教育環境を整備できたか。生徒の環境・美化意識を高められたか。生徒が自らの学習環境を整える態度が見られたか。また実践的な避難訓練を実施できたか。生徒の防災意識と学校防災体制を高められたか。</p>